

【様式 1】
令和 5 年度

児童生徒と向き合う時間の確保とワーク・ライフ・バランスの実現に向けて

【浜坂西小学校】

取 組 目 標		目標達成に向けた具体的な 取組	10 月末までの取組状況	成 果	課 題
1	☆定時退勤の完全実施に努める。 ☆職員の協働体制を確立させる。	☆月曜日（月曜校時日）は 17：30 までに退勤する。 ☆月曜日（月曜校時日）以外でも定時退勤する日を設定する。 ☆業務量に偏りがでないよう、役割分担を徹底する。 ☆職員相互の連携・連帯を深め、協働して業務にあたる風土をつくる。	★この 1 か月余り、放課後の生徒指導業務（家庭訪問、保護者対応等）が増えたため、一部教職員の早期退勤ができていない。 ☆教職員の協働体制はとれている。	☆月曜日（月曜校時日）の 17：30 までの定時退勤は、ほぼ定着した。 ☆業務量に偏りがでないよう、役割分担ができた。 ☆職員相互の連携・連帯の意識が高まり、協働体制がとれた。	★保護者との連絡・連携しなくてはならない場合、保護者の勤務終了・帰宅を待たねばならず、教職員の勤務時間内では対応できない場合がある。
2	☆諸会議の回数や時間を短縮する。 ☆行事の工夫・改善に努める。	☆諸会議の司会・進行を工夫する。（連絡と協議の区別、終了時刻の設定 等） ☆校務支援システムを有効活用する。 ☆行事内容の見直しや、準備・練習の効率化を図る。	☆諸会議の時間や回数が削減できた。（とくに P T A 関係の会議） ☆校務支援システムは、効率よく活用している。	☆メール連絡や文書配付等により、P T A の総務部会や運営委員会等の会議を半減した。 ☆校務支援システムは、効率よく活用できた。	★諸会議削減については、事務局等の、かなりの工夫・努力が必要である。